

科目名: 情報基礎演習Ⅱ (Excel)		科目コード	FC79
科目主査: 陶山 登 担当講師: 陶山 登、日下部 貢一		単位	2
		配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
<p>本科目では、集めたデータを効率よく分析するために、ぜひ学んでおきたい基礎知識や操作を修得することを目指します。また、Excelの初心者、中級者が身に付けておきたい操作を確認し、Excelの上級者になるための基礎を学びます。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名: パソコン基本操作 (変換・挿入・削除等) ができることを前提に授業を行います。	
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングしておきましょう。テキストを見ながら。Excelの基本操作をしておくことと演習がスムーズに進みます。		
テキスト	『30時間でマスターExcel2016』実教出版企画開発部 (編), 実教出版, 2016年 ※テキストはスクーリング受講許可者に配布します。		
この科目の 到達目標	①表計算ソフトの基礎を理解し、関数を効果的に用いることができる。 ②データ分析に必要な手法を修得し、データベース的なExcelの活用ができる。		
成績評価 の方法	授業項目ごとに演習問題を出題します。その結果を評価の50%とします。 最終試験では、選択問題を6問、記述問題を2問出題します。		
事後学習	常に利用し慣れていないと、必要な時、効率的な活用は難しくなります。簡単でよいので、身の回りのデータ保存や分析に活用して、使い続けてください。また、データをグラフや適切な表で眺めて、新しい角度からの分析や発想の活用を心がけてください。		
事後学習の 参考文献	『すぐわかるExcel データ集計&分析』早坂 清志/間久保 恭子, アスキー・メディアワークス, 2013年 『MOS Excel 2016 対策テキスト& 問題集改訂版』FOM出版, 2017年		
スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具			